

降下ばいじん 加古川製鉄所 自主管理目標値（環境対策効果の予測値）
未達成について

1. 5月の降下ばいじん実績について

加古川製鉄所では、08年4月から粉じん対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関して製鉄所影響値 3.0t/km²/月以下（対象測定地点：加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所）の自主管理目標値（環境対策効果の予測値）を設定し、その達成に注力してまいりました。

13年7月の目標値未達成の対策実施以降、目標値を下回る実績を挙げてまいりましたが、5月の加古川神鋼ビルの測定値が自主管理目標値未達成となりましたので、その内容について以下に報告させていただきます。

地域住民の皆様には大変ご迷惑・ご心配をお掛けすることとなりましたことを、深くお詫び申し上げます。

<降下ばいじん 加古川市測定値>

測定地点	単位	2月	3月	4月	5月
加古川神鋼ビル	t/km ² /月	0.84	2.28	2.38	3.52
別府小学校	〃	0.64	1.12	1.42	2.25
尾上小学校	〃	0.14	0.84	0.97	2.31

2. 加古川神鋼ビル未達成の原因について

日々のパトロールにおいて月間を通じて粉じんが飛散するような設備の異常はありませんでしたが、5月上旬の風速10m/sを越える強風が吹いていた時間帯に焼結原料ヤードの一部で風により粉じんが間欠的に舞い上がっている状況を確認しました。焼結原料ヤードにおいては水分の高い原料を添加して湿潤化を図り、これまで粉じん飛散は見られませんでした。表面の一部が局所的に乾燥し強風により飛散したと推定しております。

今後、これまで実施してきた種々の対策と併せ、強風が吹くと予想される場合は焼結原料ヤードの表面を湿潤化させるための散水を実施して飛散防止を図り、目標値の安定達成に努めてまいります。

<加古川製鉄所長 柴田耕一郎 コメント>

13年7月に自主管理目標値未達成以降、その対策を確実に実施するとともに、これまで実施してきた低減対策の維持継続に気を抜くことなく取り組んできましたが、5月において自主管理目標値未達成となりました。大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

増加要因に対する対策を確実に実行し、安定して目標値を達成するよう注力して参ります。